

東京大学 産科 合併症妊娠外来について

【合併症妊娠外来とは】

妊娠・出産は、女性のライフステージの中で大きなイベントですが、基礎疾患を抱える女性にとっては、心身共により大きな挑戦となります。妊娠前にできる限り良い状態を整えてから妊娠することで、病状を理解して妊娠することができ、母児共により良い妊娠・分娩経過を期待することができます。近年、プレコンセプションケアとして様々な取り組みがされていますが、特に当院では、基礎疾患を有する患者さんへの妊娠前の情報提供を行なっています。

東大病院には多くの重症、稀少疾患の患者さんが通院しており、妊娠可能年齢の方も少なくありません。挙児希望がある患者さんは、「妊娠したら合併症は悪くなるのだろうか？」「赤ちゃんへの影響はないのだろうか？」「内服中の薬はそのまま良いのだろうか？」「妊娠前に気を付けて改善しておけることは何かあるのだろうか？」と様々な不安を抱えています。

また、予期せぬ妊娠や、妊娠してから合併症が見つかった場合には、東大病院での複数科による専門的な診療をもってしても、妊娠継続を断念せざるを得ないことがあります。不妊治療技術の発達により、自然妊娠が難しいような疾患・体調であっても妊娠し、ご本人の予想しなかった産科合併症を発症することもあります。

妊娠にはご本人のみならず、赤ちゃんの生命が関わります。そして、困難な状況であるほど、ご家族の理解とサポートが欠かせません。是非、妊娠前にご自身の疾患への理解を深めて、納得のいく、お産をして頂きたいと考えております。

【当院の合併症妊娠外来の特徴】

大学病院という性質上、全身の疾患に関する専門診療科へのコンサルトが可能です。遺伝性疾患については、臨床遺伝カウンセラーとも連携し、遺伝外来でもカウンセリングを行なっています。当院は総合周産期センターであり、22週からの早産児に対する診療にも精通した小児科のバックアップ、出生後のフォローを受けることができます。妊娠前の専門的評価を受け、妊娠した際に同じ施設で妊婦健診・出産し、産後のフォローまで一貫して受けて頂くことが可能です。

【対象疾患の例(一部)】

先天性心疾患術後 Marfan 症候群 自己免疫性疾患 下肢静脈血栓症・肺塞栓症
慢性腎臓病 肝硬変 非アルコール性脂肪肝炎(NASH) 高度肥満 神経性食思不振症
子宮腺筋症・腺筋症核出術後

【日時・予約方法】

外来は毎週木曜日の午後 2 時半からで、完全予約制となります。できる限りパートナーの方と一緒に受診して頂くことをお勧めします。

患者さんご自身あるいは、通院中の医療機関担当医より、東大病院予約センター：電話番号 03-5800-8630(月曜日～金曜日 12:30-17:00)にご連絡をいただき、産科外来までお問合せ下さい。

当外来は自費診療のカウンセリングを目的とした外来であり、合併症に対する保険診療で対応可能な検査や他科の診療は同日に行うことができません。通院中の医療機関の担当医からの診療情報提供書を事前に送付頂き、十分な合併症に対する評価を行い、患者さん毎に個別の説明シートを準備致します。状況により、適切な初診枠をご案内させていただきます。